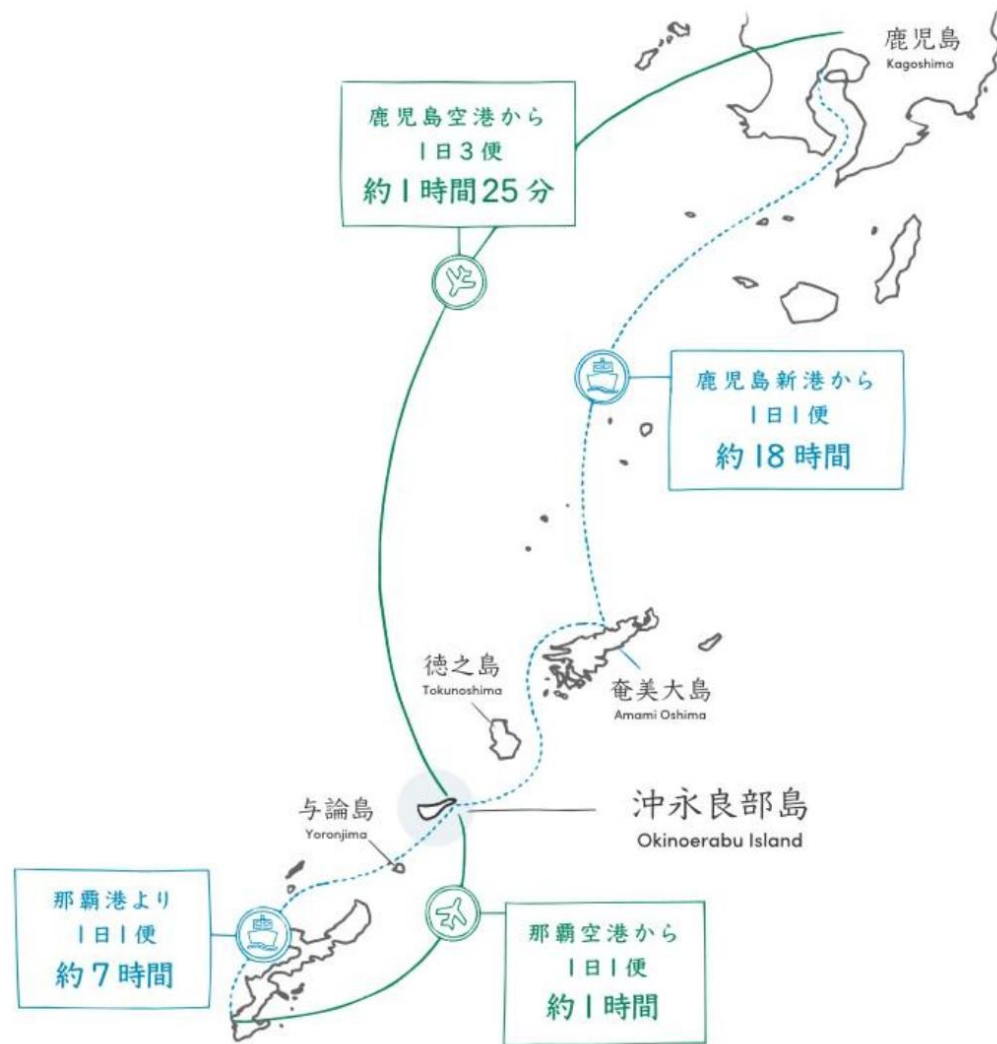


電力と交通の同時脱炭素で挑む 離島レジリエンスの再構築

— 自動運転MaaS、水素・バイオガスによるゼロカーボンモデルの構築に向けて —

⚠ 本資料は2025年7月31日時点の暫定版です。
メンタリング等を経て、今後内容が変更となる可能性があります。

沖永良部島について



地域の現状と課題

- ✓ 外海離島（沖永良部島）
 - 燃料・食料・資材を本土から輸送に依存
 - 台風・時化・地政学リスクで物流断絶の可能性
- ✓ 脱炭素の課題
 - 島唯一の火力発電所がCO₂主因
 - 交通部門でCO₂排出量の3割超
- ✓ 社会的課題
 - 人口減少・経済縮小
 - 公共交通の機能不全（高齢者移動困難）

知名町が描く未来『脱炭素』 × 『地域課題の同時解決』

- ✓ 交通脱炭素（EV・MaaS）で移動の自由を確保
- ✓ 再エネ＋水素／バイオガスでエネルギー自立
- ✓ 離島モデルの全国展開へ

共創を求める事業領域

☑ 協業を希望する分野

- EV・MaaSシステム構築
- バイオガス・有機資源利活用
- 再エネ×水素製造技術

➡ FS・実証・事業化まで柔軟に対応可

共創パートナー募集 沖永良部島で未来を創る『実証フィールド』

知名町は「脱炭素×課題解決」の両立に挑む“実証フィールド”です。

✔ こんな企業様を歓迎します

- EV・自動運転技術を有する企業:

離島におけるMaaSシステム構築／EVステーションの実装を目指しませんか

- 有機廃棄物の資源化に取り組む企業:

食物残渣や家畜糞尿を活用したバイオガス・堆肥化などの循環モデル構築に挑戦しませんか。

- 再エネや水素利活用に強みを持つ企業:

再エネ由来の水素製造・利用によるエネルギー自立モデルの共同開発をしませんか。

共創パートナー募集 沖永良部島で未来を創る『実証フィールド』

知名町は「脱炭素×課題解決」の両立に挑む“実証フィールド”です。

✅ 進め方

- ステップ1
スモールスタートでの実証: まずは小規模なモデル事業で効果を検証し、具体的な成果を共に創出しましょう。
- ステップ2
共同研究・補助事業申請: 実証の成果を基に、補助金等の活用も視野に入れながら、より大きな事業へと展開しましょう。
- ステップ3: 地域への実装と全国展開
知名町での成功モデルを、他の離島地域や全国へと波及させることを目指しましょう。

ご清聴ありがとうございました。

【連絡先】

知名町 企画振興課 ゼロカーボン推進室

担当：西／藤原

Email: china08@town.china.lg.jp

TEL: 0997-84-3162